

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 242

2015年

1～2月号

## 2015年の年頭に当たって

会長 間野吉幸

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては清々しい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。また旧年中は会の活動にご支援を賜り有り難うございました。厚く御礼申し上げます。

昨年の活動を振り返って見ますと当会の中心的な活動である定例探鳥会、遠出探鳥会、一泊探鳥会は野鳥を楽しむことを活発に行って来ました。会員同士が和気あいあいと交流している場に接しました。これらができる場や雰囲気は会の活動の源泉でありますので大切にしていきたいと思っています。

手賀沼の水鳥の個体数調査、手賀沼ビオトープの鳥類調査、鳥便りや野鳥・会の活動記録写真のデータベース化は当会の誇るべき財産であります。これらは一部の会員のご尽力に支えられていますので、多くの方が対応できるようにしなければならぬ課題があります。

野鳥啓発活動は、野鳥の棲める環境を守るためにも大切な活動であります。「JBF」では沢山の会員の参加を得て野鳥啓発に努めました。また「あびこ市民活動メッセ」に参加し日頃の活動成果を発表しました。色々な団体への探鳥指導、小学校や老人ホームでの野鳥の話、NHKや新聞社の取材対応等幅広く行いました。これらの活動で昨年は会員が増えました。大変喜ばしいことです。

一昨年から始めた「新入会員向けオリエンテーション」や「野鳥サロン」は行事として定着してきました。

昨年の特筆すべきことは今後の会の運営を皆さんがどう考え、そしてどのようにしたら良いかを幅広くご意見をいただく為に会員アンケートを実施したことです。26項目に亘るアンケート項目にも係わらず会員の半数を超える方から回答やご意見がありました。これらから得られた内容を十分検討し会の発展に生かして行きたいと考えます。

今年は当会の伝統である野鳥への思いを胸に会の活動は楽しく、人と野鳥の共存する環境作りが野鳥啓発活動を通じて出来れば素晴らしいと思います。

会の発展のために皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

## 行 事 案 内

### 1月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月11日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 2015年最初の定例探鳥会です。  
カモ類やカンムリカイツブリな  
ど、冬鳥の最盛期。今年も多くの  
鳥達と出会うことを祈念しつ  
つ、手賀沼の冬を満喫しましょう。

解 散 正午  
担 当 松本

### 2月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月8日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 カモ類やカイツブリなどの冬鳥  
で、手賀沼が最も賑わう季節です。  
ミコアイサやタゲリ、猛禽類など  
この時期ならではの鳥達との出  
会いに期待しましょう。

解 散 正午  
担 当 小林(寿)、野口(紀)

### 1月、2月ピオトープ調査

期 日 1月8日(木) 雨天延期  
2月5日(木) 雨天延期  
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分  
案 内 1-2月のピオトープは一年中で多  
くの種類の野鳥が見られる時です。  
昨年1月はアオジ、オオジュリン、  
ツグミ、ホオジロ、ノスリ等20種、  
2月は1月の他にタヒバリなどの  
24種の野鳥を観察しました。  
咲き始めるサザンカの花、ユズリハ、  
シャリンバイ、カラタチ、クコ等の  
実、ヨシ、オギ、ヒメガマ、セイタ  
カアワダチソウ等の枯れた花穂を

見ながら、冬の探鳥をしましょう。  
参加希望の方は下記までご連絡下  
さい。

解 散 午前11時30分  
担 当 鈴木静治

Tel:080-3121-4757

### 井 頭 公 園 探 鳥 会

期 日 1月31日(土) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
交 通 マイクロバス  
(富士交通 047-459-9191)

案 内 恒例の探鳥会です。今年も昨年に続  
き土曜日に行います。昨年は公園内  
が整備中で水が少なめでしたが今  
年は整備も終わって水が増えている  
ようです。公園内では例年40種  
以上観察されています。ミヤマホオ  
ジロ、トラツグミ、ベニマシコ、マ  
ガモ、ミコアイサ、アメリカヒド  
リ・・・期待しましょう。

定 員 28名  
費 用 3,500円  
持 物 観察用具、防寒具、弁当(途中購入  
可)(念のため雨具)

申 込 染谷迪夫まで  
申し込み期限 1月20日

Tel: 04-7182-3972

担 当 染谷、小林(寿)

### 渡 良 瀬 遊 水 地 探 鳥 会

期 日 2月15日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
案 内 昨年は雪のため中止となりました  
ので、再挑戦です。

渡良瀬遊水地は約 33 平方kmもの  
広大な面積があり、2012 年には  
通称ラムサール条約(水鳥湿地保  
全条約)に登録された絶好の探鳥  
地です。

谷中湖では沢山の水鳥、三つの調  
節地では季節の小鳥、上空ではチ  
ュウビ、ハイイロチュウビ、チョ  
ウゲンボウ、ノスリ等の猛禽類が  
期待できます。

合わせて東洋大板倉キャンパス  
付近の田圃や池も探鳥します。

交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人  
1,500 円を運転者にお渡し下さ  
い。

持 物 観察用具、防寒具、念のため雨具、  
(昼食は近くのラーメン店を利用  
する予定ですが途中購入も可)

申 込 野口隆也まで

Tel : 04-7163-7898

担 当 石渡、野口(隆)

### 銚子・波崎カモメ探鳥会

期 日 平成 27 年 3 月 1 日(日)雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前 7 時 30 分  
案 内 銚子漁港は日本有数のカモメ観察  
のメッカで、3 月になると渡りのカ  
モメが集結し膨大な数になります。  
カモメの基本 8 種をはじめホイグ  
リンカモメやカナダカモメなど珍  
しい種も毎年観察されています。カ  
モメは種類だけでなく年齢によっ  
て羽色が変わり識別が難しいです  
が、だからこそその楽しみもあります。  
カモメウォッチングで識別にもチ  
ャレンジしてみましよう。  
また、去年は雨のため中止になりま

したが、下見ではクロガモやアカエ  
リカイツブリが多く見られ、銚子近  
くの外川漁港ではケイマフリ、波崎  
防波堤沖にはビロードキンクロと  
珍鳥も入っていました。定番のシノ  
リガモ、ウミウ、ヒメウ、クロサギ  
などに加え、太平洋荒波の漁港なら  
ではの珍鳥にも期待したいですね。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人  
1,500 円を運転者にお渡しくださ  
い。申し込みの際、自家用車を提供  
可能な方はその旨ご連絡ください。  
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途  
中購入可)  
申 込 桑森亮まで

Tel/Fax : 04-7182-3149

担 当 相良、北崎、桑森

### 1 月役員会案内

日 時 1 月 11 日(日) 13:00 ~ 16:00  
(開始時間に注意！)  
場 所 水の館 3 階研修室  
議 題 平成 26 年度の反省と平成 27  
年度に向けて  
アンケート調査の結果につ  
いて  
会報 243 号掲載予定記事につ  
いて  
第 3 四半期会計報告について  
助成対象事業の対応について  
第 11 回「野鳥サロン」につ  
いて  
報告事項  
・関係団体関連報告  
その他(議題のある場合は野口  
隆也までご連絡ください)

## 第 10 回「野鳥サロン」のご案内

「鳥の渡り、動物、虫の渡り」のテーマで第 10 回野鳥サロンを開催しますので、興味のある方、渡りを観察された方、渡りの知見のある方にお集り頂き野鳥を中心に渡りの話をしましょう。

開催要領は次の通りです。

内 容 鳥の渡り  
・渡りの起源・世界の渡りルート・  
渡りの方法・身近な色々な鳥の渡り  
動物の渡り  
虫の渡り

魚、水棲動物の渡り

日 時 1 月 22 日(木)10:00 ~ 11:30  
場 所 我孫子北近隣センター 並木本館  
第 2、第 3 会議室  
Tel : 04-7157-4517  
会 費 300 円  
担当幹事 小玉文夫、佐々木隆、鈴木静治  
申込期限 1 月 15 日(木)  
申 込 佐々木隆まで

Tel:080-5507-5343

## 行 事 報 告

### 10 月 手 賀 沼 探 鳥 会

調査日時 2014.10.12 9:00 ~ 12:00

晴時々曇り 無風 19

台風 19 号の影響で天候が心配でしたが、台風の色度が遅くまだ影響はなく、天気は、晴時々曇り、風もなく穏やかな日でした。

ハヤブサが、よく見られる北千葉導水センター東の鉄塔では、初めは、ハヤブサが見られませんでした。鉄塔から飛び立って、観察できる所に止り、存在をアピールしているようでした。ミサゴは、手賀沼の上沼と下沼の杭にそれぞれ止まっています。上沼では、セグロカモメ、下沼では、マガモ、ハシビロガモ、コガモなどのカモが見られ、いよいよ冬鳥が見られる季節になったことを感じられました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、クイナ、バン、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 計 29 種

<探鳥班> 野口隆也、小川克子、常盤孝義、田丸喜昭、榎本右、宮下三禮、肥後邦彦、金子幸子、川越久枝、相良直己、鈴木静治、渡辺公子、松田幸保、北崎正典、佐々木隆、石渡成紀、六角昭男、小林博之、千葉洋、佐藤弘美、野倉元雄、渡辺俊文、西嶋昭生、村松寿夫、間野吉幸、荒井みどり、石井俊子、古出洋子、玉井修一郎、野口紀子(担当)船津登 計 31 名

<カウント班> 田中功、染谷迪夫、北原建郎

調査日時 2014.10.12 9:00 ~ 12:12

曇り 東弱風 16

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	17	8	25
オカサギ	1	1	2
カルガモ	84	12	96
コガモ	23	61	84
ホシハジロ	0	3	3
カイツブリ	4	4	8
カムルカイツブリ	1	0	1
カウ	37	47	84
アカギ	12	8	20
ダイサギ	2	8	10

チュウサギ	0	4	4
コサギ	0	2	2
オカパン	1	7	8
セグロカモ	1	0	1
合計	183	165	348

<ピオトープ班> 鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、蒲田知子、船津登  
調査日時 2014.10.2 9:30~11:40

曇り 無風 24

キンモクセイの匂い漂い、山から帰ったアキアカネの群れが見える。ピオトープは草に覆われ中の鳥は見えない。草の刈られた場所ではヨシゴイ、ゴイサギ、パンが見え、コガモが池に着水する。木の頂にはモズ、ホオジロが見え、上空にはトビ、ミサゴ、カケス、ツバメが飛ぶ。刈り取られた田の田起こし後のトラクターの後をチュウサギが追う。観察した野鳥 21 種 101 羽。他に木の花実 5 種、野草の花 27 種が観察でき、蝶 11 種、蛾 1 種、蜻蛉 4 種、蜂類 2 種、蝉 1 種、バッタ 3 種、蛙 2 種、イタチも観察出来ました。

<認めた鳥> カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アオサギ、チュウサギ、パン、ミサゴ、トビ、カワセミ、モズ、カケス、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ 計 21 種

## 11月手賀沼探鳥会

調査日時 2014.11.9 9:00~12:00  
曇り 無風 15

この日は前日夜から雨が続き、9時前は小雨模様で気温も低く肌寒い天気となり、探鳥会は中止になると思われた人が多かったと思います。そんな中でもカウント班を含めて 17 名の皆さんが集まりました。JBF 直後の定例会ということもあり、参加者には JBF で当会の活動を知り、初参加の方が 3 名いらっしゃいました。

開始時間の 9 時頃から幸いなことに雨足が収まり、人数が少ないこともあって、4 台の車で探鳥をスタートしました。天気はいつ雨が降るかも知れない模様で、少人数ということもあり、歩きは止めて駐車可能な探鳥ポイ

ントに絞り、上沼はヒドリ橋、下沼はハス群生地と染井入落しの 3 か所を巡りました。上沼ではカムリカイツブリが目立ち、いつものハヤブサとミサゴは見あたりませんでした。下沼では、ハスの中のマガモやサギ類、沼の中央ではハジロカイツブリの小群、オカヨシガモの群れ、潜水ガモの小混群など、カモの種類はそこそこで、冬の始まりを感じさせてくれました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオパン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、オオジュリン 計 39 種

番外 アヒル、カワラバト

<探鳥班> 野口隆也、田丸喜昭、大久保陸夫、榎本右、間野吉幸、小坂忠久、田中恒雄、蓮見秀俊、蓮見佳子、久永佳弘、小川克子、古出洋子、岩田孝之

(担当) 桑森亮 計 14 名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫  
調査日時 2014.11.9 9:20~12:07

曇り 東風弱 15

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	9	6	15
オカヨシガモ	0	18	18
マガモ	0	20	20
カルガモ	61	3	64
オナガガモ	13	1	14
コガモ	26	2	28
ホシハジロ	0	1	1
スズガモ	0	9	9
カイツブリ	8	2	10
カムリカイツブリ	24	24	48
ハジロカイツブリ	0	16	16
カワウ	19	57	76
アサギ	19	3	22
ダイサギ	3	4	7

チュウサギ	0	4	4
コサギ	1	2	3
バン	0	1	1
オオバン	4	8	12
ユリカモメ	1	0	1
セグロカモメ	1	1	2
合計	189	182	371

<ピオトープ班> 鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、蒲田知子、船津登

調査日時 2014.11.6 9:30 ~ 11:20

曇り後晴れ 無風 17~21

沼の鳥少ない。斜面林よりヒヨドリ、カラス等の鳴き声が聞こえる。冬鳥のアオジがピオトープ内で、タヒバリが田で、ピオトープ内でカワセミ、キジが見られ、田とピオトープで多くのホオジロが観察でき、上空にトビ、ユリカモメ、セグロカモメが見られた。

観察した野鳥 17種 65羽。他に木の花実 8種、野草の花 18種が観察でき、蝶 4種、蛾 1種、蜻蛉 1種、蜂類 4種、甲虫 1種、バッタ 2種、カメムシ 1種、蜘蛛 1種、蛙 1種、イタチも観察出来ました。

<認めた鳥> キジ、カルガモ、カワウ、コサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、カワセミ、モズ、ハシブトガラス、ウグイス、スズメ、ハクセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ 計 18種

## 葛西臨海公園探鳥会

10月18日

### 絶滅危惧種のクロツラヘラサギを 見ることが出来ました！

野倉元雄

4月に会員の仲間入りをさせて頂き、3回目の日帰り探鳥会でしたが、朝から快晴のお天気で幸先の良い予感のする日となりました。

8時に我孫子駅に集合し、葛西臨海公園駅で合流の皆様と総勢 16名です。今回のルートはいつもとは異なる旨が幹事さんからご説明がありました。満潮の時刻がお昼頃なので潮の退いている午前中に海浜での探鳥を終わらせ、お昼を挟んで鳥類園での探鳥を実施するというものでした。新米の私は潮の干

満が探鳥に影響するとは思っていませんでしたので、流石にベテランの幹事さん達のご配慮は素晴らしいと感心いたしました。

西なぎさの西地区ではカモメやウミネコなどを観察し、ウミネコは本当に猫に似た啼き声で覚えやすいのですが姿の特徴が頭に残りませんでした。東地区ではディズニールンドのシンデレラ城を遠望しながら、人の立ち入りが制限されている東なぎさの野鳥を観察しました。カモメ類の大群やダイシャクシギ等を見ることができましたが、特筆すべきは世界に 3,000羽しかない珍鳥のクロツラヘラサギを見ることができたことです。嘴の先がヘラのように水中で左右に振って餌を探す姿はユニークでした。体は白色であることを知らず、スコープに映っているのを見せてもらった時にも始めは見間違いに黒い鳥を探していて解りませんでした。名前は「サギ」なのに「トキ」科の鳥で第一級の絶滅危惧種と知り、印象が余計に強くなりました。

昼食後の鳥類園では猛禽類のオオタカ、ハヤブサ、トビが姿を見せ、キビタキ等の野鳥を見ることができ、池の周囲ではふだん手賀沼周辺で見かけないアオアシシギ、キアシシギなどを観察できました。おまけに帰りの電車の窓からは浜辺で羽を休めるスズガモの大群を遠望できました。朝の予感通り終日天候に恵まれ、ほどよい疲れも加えて満足できる探鳥会となりました。皆さま有難うございました。

### 【幹事報告】

晴天の秋の一日、葛西臨海公園でシギチ、カモ、サギ、タカ、カモメ等の探鳥を楽しみました。我孫子 8時又は葛西臨海公園 9時に会員外の大隅さんを含め 16名が集合し、まず干潮後の西なぎさでミサゴ、コサギ等の採食する様子を、ハジロカイツブリの群れでの追い込み漁の様子を、西なぎさより東なぎさを遠望しカモメ類、カワウ、サギ類の群れ中で採食する珍鳥クロツラヘラサギ及びダイシャクシギ等を観察しました。次に西なぎさより葛西渚橋を渡り海岸に出、林の中で渡り途中のキビタキ及びオナガ、オオタカを見、サンシュウの赤い実のなる日本庭園で持参した昼食を摂りました。昼食後、鳥類園の上の池(淡水池)でキンクロハジロ、オオバン、

コガモ、ヒドリガモ等を見、下の池(汽水池)の観察舎よりアオアシシギ、カワセミ等を観察しました。更に海岸線に出ると鉄橋にとまるハヤブサの若鳥、長い魚体のサヨリを捉え美味そうに飲み込むカワウ、2羽のミサゴが杭に止まったり、飛び立つ様子を観察しました。14:30頃中央園路に戻り、鳥合わせを後解散しました。今回の探鳥会では水辺、山野の鳥で留鳥、漂鳥、渡り鳥と幅広く多くの種の鳥を見ることが出来ました。なお下見を9日前の10/9(木)に行いましたが、この時見られた鳥で今回見られなかった鳥は、バン、ササゴイ、ミヤコドリ、ノスリ、チョウゲンボウ、カケス、キセキレイ、セグロセキレイの8種でした。日により見られる種も少しずつ異なるようです。

<認めた鳥>ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、オオバン、ダイシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、キビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 計43種 番外 カワラバト  
<参加者> 間野吉幸、野倉元雄、古出洋子、相良直己、野口隆也、岩田孝之、田丸喜昭、田丸メリー、金子雅幸、渡辺俊文、石渡成紀、吉田隆行、千葉洋、大隅政孝(幹事)船津登、鈴木静治 計16名

---

## 清里・軽井沢探鳥会

11月23、24日

---

"天候に恵まれて 晩秋の探鳥を楽しむ!"

鈴木裕爾・幸子

### 【1日目】

暦の上では「小雪」が過ぎ、通常ならば寒い筈ですが、今朝は気温は暖かく晴天でまさに絶好の鳥見日和。

幸先良さそうな予感。バスは定刻8時に清里に向けて出発です。早くも車内では、今回

のメインであるフクロウなどの話題と期待で話が盛り上がり、誰もがにこやかな顔つきです。好天気と連休で渋滞が心配されましたが八王子ジャンクションで少し手間取っただけで順調に進みました。

山々は紅葉・黄葉で彩られとても見事です。俳句で言う「山粧う」の言葉通りです。

双葉パーキングで各自昼食を済ませ、1時半過ぎにペンション「ねむのき」に到着。早速、アカゲラ、ニユウナイスズメ、ゴジュウカラ等のお出迎えを受けました。休憩の後、オーナーの先導で八ヶ岳高原へ探鳥に出発。狙いはもちろんフクロウとオオモズ……。周囲の景色は拓けた牧場地で、澄み渡った青空の中、八ヶ岳連峰や遠く富士山を望みながらの探鳥です。現地ではノスリが多く、カラスとのせめぎ合いや悠々と飛んでいる姿が見られました。

「なかなか本命のフクロウに巡り会えないな」思ったころ、突然、落葉松林の中を飛び立った2羽のフクロウの姿。途中の枝に止まったものの、再び飛び去ってしまいました。バスの中からだったので見た人と見られなかった人がいて、明朝に期待をつなぎました。

6時30分より夕食。メニューは洋風で美味しく戴きました。よる8時より恒例の二次会で、各テーブルでは笑い声や、探鳥談義に花が咲きました。明朝は6時出発なので就寝です。

### 【2日目】

朝6時、全員が冬装備の格好で集合。バスにて昨日のコースに向かいました。八ヶ岳高原に天皇・皇后・清子様行啓記念碑が建つ近辺で、野薔薇の赤い実を食べに来るベニマシコ(?)を待ちます。声はすれども姿は見えず、皆が耳を澄ませている時に「オオモズが出た!」との声。見れば遠くの落葉松の梢に順光で白く輝くオオモズの姿が……。プロミナーを覗かせて頂き、その姿を十分見ることができました。メンバーの方で見事カメラに納め、その飛び立つ瞬間をも写した写真も見せてもらいました。ペンションオーナーの話では、オオモズはこの清里周辺では1羽しか居ないとのも事で、貴重な収穫でした。

8時30分より朝食。その際に、幹事より、予定ではこの後、軽井沢野鳥の森へ直行でしたがあまり鳥が出て居ないので、急遽、

佐久の東電調整池の方が種類が多いのではないか、との提案があり一同賛成で目的地が変更になりました。

佐久では数種のカモ類と小鳥などを探しました。1時30分、佐久インター入口前の「峠の釜飯 おぎのや」で昼食を取り、帰路につきました。車中、鳥合せをしたところ、何と54種プラス1の成績でした。これには参加者一同大満足の様子でした。

帰路は三連休の最終日でもあり、渋滞を覚悟していましたが、ほんの少しの渋滞で済み予定時刻より30分早く我孫子に着きました。

今回の探鳥会は、天候にも恵まれ見事な紅葉を楽しみ、希少なオオモズを見、個性豊かな参加者達との交流やお話をお聞きしたりして、とても充実した二日間でした。私たちもこれからはなるべく多くの行事に参加していきたいと思いました。幹事さん・同行の皆さん、本当に有難うございました。

#### 【幹事報告】

前夜長野県北部を襲った震度6弱の地震の影響が心配されたが、目的地の清里・軽井沢はほとんど影響がなく探鳥会は予定通り催行されました。

三連休の中日ということで心配した渋滞にも巻き込まれず順調に清里に到着。宿舎「ペンションねむのき」では、庭の給餌台周辺にアカゲラ、コゲラ、コガラ、ヤマガラ、ニュウナイスズメ、キジなどが来ていました。ご主人斉藤さんのガイド車の後をマイクロバスがついていく形での探鳥になりました。広い清里・野辺山地区で探鳥ポイントをガイド無しで探すのは困難なため、斉藤さんの無償でのガイドは大変助かりました。その甲斐もあり八ヶ岳牧場ではかるうじてではあるがフクロウ2羽を確認できました。

翌日の早朝探鳥会ではシラガホオジロ、ベニマシコ、ゴジュウカラ、アトリ等に加え、清里・野辺山に1羽しか入っていないといわれるオオモズを全員が見られたのは幸運でした。

朝食時、参加者から軽井沢探鳥を止めて、佐久東電第一調整池に行くかこのまま清里で探鳥を続けたらどうか提案があり、相談の結果、佐久調整池に目的地を変更することになりました。ペンションの斉藤ご夫妻に見送

られ、佐久に向かう。

佐久調整池では、カワアイサ、ミコアイサ、カンムリカイツブリ、キンクロハジロ等期待された鳥は数は少ないがほとんど見ることができた。はずれが少ないこのような探鳥地は幹事にとって貴重で大変助かります。

少し遅めの昼食を佐久インターの「佐久乃おぎのや」でとり、帰路に着いた。早めに佐久を出たため、三連休最終日の渋滞には合わず3時間半ほどで6時には我孫子駅に無事到着した。

<認めた鳥>キジ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、イカルチドリ、トビ、オオタカ、ノスリ、フクロウ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、チョウゲンボウ、モズ、オオモズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、ゴジュウカラ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ニュウナイスズメ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、オオマシコ、シラガホオジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ 計54種

番外 ガビチョウ

<参加者>金子雅幸、金子智恵子、間野吉幸、鈴木裕爾、鈴木幸子、大久保陸夫、小山雄司、荒井みどり、松田幸保、古出洋子、木村稔、仲澤成二、中西榮子、中根忠、青木典子、浅野利幸、船津登、野口洋子（幹事）野口隆也、小澤淳宏 計20名

---

### 手賀沼親子ふれあい探鳥会 (手賀沼フォーラム地域企画) 11月30日

---

日 時 11月30日(日) 9:45~12:40

天 候 晴

行 程 手賀の丘公園~手賀沼(下沼)~手賀の丘公園

手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、一般市民を対象にして当会会員が野山と水辺の鳥を案内し、家族に探鳥の楽しみを



伝える親子ふれあい探鳥会を実施しました。

当日は好天に恵まれた絶好の探鳥会で、野鳥も 40 種が観察されました。

今回は例年と逆コースを選択、じゃぶじゃぶ池ではヤマガラ、アオジを観察し、桜の森付近ではトビの大旋回を間近に堪能し、加えてカシラダカ、ミヤマホオジロにも遭遇しました。

手賀沼に向かう途中の田圃ではヒバリやタヒバリを観察。手賀沼ではコガモ・コブハクチョウ・カンムリカイツブリ等の水鳥に加え、ミサゴもゆっくり観察できました。特にヨシガモのナポレオンハットの美しさに全員が感動していました。

鳥合わせの後、野鳥ビンゴの結果に応じた当会特製の「野鳥カード」や「塗り絵セット」のプレゼントに子供たちは大喜びでした。

ぜひ当会の定例探鳥会に参加したいという人も出て大好評でした。

< 認めた鳥 > キジ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ノスリ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ルリビタキ、スズメ、ハクセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、ミヤマホオジロ 計 40 種

番外 アヒル

< 参加者 > 一般：21 名。会員：12 名 小川克子、小川知子、金子幸子、類地佑子、間野吉幸、野口紀子、相良直己、船津登、松下勝子、松本勝英、古出洋子、野口隆也

計 33 名

---

## 第 14 回 ジャパンバードフェスティバル ( J B F 2 0 1 4 )

---

### < 総括報告 >

11 月 1 日～2 日の 2 日間、JBF における当会行事は鳥博広場のテント、噴水前の展望デッキ、観光船棧橋付近の受付テントの 3 か所で行われました。

初日は雨が降り苦戦しましたが、2 日間通し

て会員の積極的な対応により無事成功裡に終了しました。

新しくプロジェクターを使った迫力満点の「未来へ生命(いのち)をつなぐ」のライドショー、鳥の種類を増やして子供たちに人気の「パタパタ工作」、身近な素材で分かり易く展示した「庭に鳥を呼ぶ」、スコープを駆使して探鳥を楽しんで頂いた湖畔 BW、船の上から探鳥と風景を楽しんで頂いた大人気の船上 BW 等、各ブースを通して全員の努力が見事に結集されました。

お陰様で当会への来場者数 2,093 名、観察された鳥が湖畔 BW28 種・船上 BW30 種、応援会員延 90 名・前日準備も入れて延 110 名、新入会員が 6 名入りました。

来年度に向けての反省点としては、更なる会員の応援参加をどう進めていくか、新入会員の加入を促進する魅力付けをどうするか等があげられます。

尚、各ブースの詳しい状況は各グループリーダーから別途報告があります。(野口)

### < パネル展示 & スライドショー >

鳥博広場前メインテントのブース 1 では、「未来へ生命(いのち)をつなぐ」をテーマに写真パネルの展示とスライドショーを実施しました。素晴らしい写真の数々と、今回初めての試みのスライドショーへの会員松田さん撮影「タマシギのイクメン日記」の動画の取り込みなど、大変好評で、本年も高い評価を頂くことができました。可愛いヒナ達や、懸命に子育てを行っている親鳥の姿など、感動の写真とスライドの数々で、視聴頂いた皆様から感嘆の声が上がっていました。写真・動画をご提供いただいた会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

[ 展示テーマ ]

「未来へ生命(いのち)をつなぐ！」

野鳥の繁殖行動、子育て、餌やり・・・など、生命を繋いでいく健気な姿の写真、動画などを用いて、未来へ向かって生命を繋いでいくことの大切さ、そのための環境を守ることの重要さを来場者にお伝えする。

[ 写真パネル展示 ]

会員から寄せられた約 300 枚余の写真から、会員 9 名の 24 枚の写真が選定され掲載されました。

[スライドショー]

「未来へ生命(いのち)をつなぐ」のテーマに沿って会員から寄せられた選りすぐりの写真より 15 名の会員の 75 枚の写真と 1 本の動画を選定し、44 枚のスライドに編集しました。全体で放映時間約 20 分のスライドショーを作成し、会期中自動で映写を行いました。

今回は、これまでより大きなサイズ(A3 サイズ)で会員の傑作写真を展示し、その写真の素晴らしさに多くのお客様が魅了されていました。掲載した写真は、鳥写真 30 枚、会の活動記録の写真 9 枚です。

また、会の紹介、探鳥地図(定例・遠出)最近 2 年間の探鳥記録のパネルも展示しました。(相良)

### <パタパタ工作&野鳥塗り絵>

今回、「パタパタ工作」は新作カワセミ、マガモを加え 6 種、「野鳥塗り絵」8 種を用意した。

初日は雨のため来場者も途絶え気味だったが、天候の回復した 2 日目は、お子さんを中心に、一時椅子が足りなくなるほどの盛況で、二日間の配布数は「パタパタ工作」201、「野鳥塗り絵」65 と昨年並みを確保した。

カワセミの人気は絶大で、パタパタ、塗り絵、来場記念の写真カードすべてで配布数断トツの 1 位だった。多めに準備したつもりが、予想を上回る売れ行きに在庫が足りなくなってしまうことが悔やまれた。

野鳥写真カードの種類が増えたこともあり、置き場の確保が難しくなったので、次回からは展示の仕方を工夫したい。

お手伝いくださった方々、有難うございました。(野口(紀))

### <庭に鳥を呼ぶ>

庭にある木の実 8 種をいけばな方式で、蔓性の草の実 2 種と人工餌 5 種と果物 1 種を入れたフィーダーを軒先に「庭に鳥を呼ぶ」のタイトルと共に、吊下げ方式で展示しました。今年は小鳥がどのようにして実、餌を啄むのか判るように 11 種のペーパークラフト小鳥の模型を木、草、フィーダーに付けました。

吊り下げられた赤いカラスウリ、簡単に然も材料費はかからなく可愛い感じのジュース紙パック、ペットボトル、針金串刺しピーナツリース等に興味をもたれる来訪者が多く、フィーダーの作り方、バードケーキの作り方等の多くの質問があり、また写真撮影していく人もあり、大変好評でした。昨年ここで見て作ったという人もありました。

なお、来年は庭に来る可愛いメジロ、綺麗なシジュウカラ、ヤマガラ、野で見られるベニマシコ等に鳥の種類を絞り、これらの鳥の好む草木の実、木の花、人工餌を展示したいと思います。(鈴木)

### <船上バードウォッチング>

昨年と同様に、一日三便、二日間で六便を運航し、総数 201 名が乗船され、1 時間余りの手賀沼遊覧とバードウォッチングを楽しんでもらいました。残念ながらカモをはじめ鳥影が薄く、観察した鳥の種類は例年より少なく 30 種類でしたが、人気のミサゴは全便で観察でき、歓声が上がっていました。

初日は終日雨模様で、第一便は曇りから小雨程度でしたが、二便からは本格的な雨となり、雨粒と曇りで外は良く見えず、コンディションとしては最悪の状況でした。それでも乗船者数は第 1,2 便がほぼ満席となり、雨足も強くなった第 3 便では流石に 20 名程度と少なくなりました。

二日目は好天となり、朝 9 時前から受け付けを待つ人の列が並び、受け付け開始から 1 時間程で第 3 便まで全席満席となり、キャンセル待ち申し込み者も相当数に上りました。

満席後も受付テントに沢山の方が訪れましたが、当会の案内パンフや親子探鳥会チラシなどを配布し、写真カードを希望の方には差し上げるなど、できるだけ啓発活動、サービスに努めました。また、今年も案内ポスター等の掲示物をカラーにし、写真チェックリストを掲示するなどディスプレイを工夫しましたが、テントを訪れた方々や歩道を通る多くの皆さん方の目を楽しませ、好評をいただきました。

天候が不順な中、船上での案内や受付など、担当幹事 5 名をはじめ全 11 名の会員の皆さんにスタッフとしてご協力いただきました。

この場を借りてお礼申し上げます。（桑森）

### <湖畔バードウォッチング>

前日から準備万端整えて多くの来場者を期待していたが、1日目は朝から小雨模様で来場者も少なめで、バードウォッチングには今一つ不向きな天候となった。このため1日目は早めに活動を切り上げ、来場者も300人弱と前年比かなりの減少となった。2日目は前日の雨がうそのような素晴らしい天候に恵まれ、朝早くから来場者が相次ぎ、活況を呈した。スコープも会員持ち寄りを含め2日間とも10台以上を設置し、案内役の会員も延24人と昨年比大幅に増加、2日間合計で772人の来場者にバードウォッチングを楽しんでいただいた。

観察された野鳥は28種+番外2種とほぼ昨年と同数。「今日観察された野鳥」の写真ボードや「手賀沼で観察される水鳥チェックリスト」の写真集などが好評であった。昨年同様、ステージ脇に通路をとり、案内看板を2か所設置し集客に努めた。（六角）

## 第9回「野鳥サロン」の実施報告

日時 11月15日(土) 10:00~11:45  
場所 我孫子北近隣センター並木本館  
参加者 12名  
担当 蒲田知子、金子幸子、木村稔

講演 蒲田知子「仮剥製を作ってみて」  
今までに作った剥製7種（コブハクチョウの羽毛標本、コジュケイ、ウソ、スズメ、ヒレンジャク、ムクドリ、シロハラ）の経験から「鳥類標本」の種類、「本剥製と仮剥製」「作りやすい鳥」「実際の手順」などについてパワーポイントを使って詳しく話しても

らい、鳥の内部構造にも沢山の知識を得られました。

「モンゴルの野鳥」のスライド。

JBFで守る会が公開した「モンゴルの野鳥」を見られなかった方のために45種を和名など多少の解説を付けて木村が映写しました。モンゴルらしく、砂漠やステップ、岩山の鳥が多く、ユーラシアの鳥で日本と共通種もありました。水を運ぶ鳥サケイ、ヒマラヤを越えるアネハズル、高山で体温を下げて寒さに耐えるカババシリなど興味を引かれる野鳥が沢山見られました。（木村）

## 統一クリーンデイ・ふれあい清掃

「一人ひとりの力でもっときれいな手賀沼に」をスローガンとした手賀沼統一クリーンデイが12月7日(日)に実施され、当会からも11名の有志が参加しました。

個人および団体で参加者総勢391名が参加されました。

毎年実施している効果なのか思いのほかゴミは少なかったが、それでも電子レンジなどが投棄されており、ごみの回収量は可燃物と不燃物合わせて420kgになりました。

1時間弱で作業を終え、素敵なエコバックを記念品として頂き、子どもたちには恒例の「じゃんけんゲーム」で勝ち残った10名へ景品がプレゼントされ、また今年は、豚汁を頂き散会しました。

参加者 金子雅幸、木村稔、鈴木裕爾、鈴木幸子、染谷迪夫、野倉元雄、野口隆也、野口紀子、松本勝英、間野吉幸（担当）小澤淳宏

## 11月役員会報告

日 時 平成 26 年 11 月 9 日（日）13：00～16：15

場 所 水の館 3 階研修室

議 事

### 1. 報告事項

#### (1) JBF 関係

- ・出展数は 150 ブースで昨年より増加しました。
- ・JBF で 6 名の方が当会に新しく入会されました。

#### (2) 美手連関係

- ・10/5 開催の勉強会で水の館の須藤館長の講演がありました。
- ・「手賀沼親水広場と水の館」が千葉県から我孫子市に委譲される計画があり、県と市とで協議が進んでいます。我孫子市では、水の館の利用について市広報に掲載し市民の意見を募集するとともに、市民団体にも意見を聞いています。その一環で、県と市の行政当局と美手連とで意見交換を行っており、当会からも意見を発表しています。また、間野会長個人としても市に意見書を提出しています。

県では来年 4 月から市に施設を引き継ぎたい意向ですが、市では 7 月から引き受け、翌 28 年 6 月迄の 1 年間で施設の設計・改修を行い、7 月から新装運営する計画を検討しています。

個人の意見提出は 11 月 14 日が締め切りですが、団体はその後受け付けており、当会でも会員の意見等を受け付け、美手連経由で市当局に提出できるので、役員各位の意見提出をお願いしました。

#### (3) 台湾訪日探鳥団への対応

- ・来年 5 月 20 日(水)～26 日(火)に台湾からの訪日探鳥団を受け入れ、案内する予定です。探鳥地ルートは、富士山 清里 妙義山 軽井沢 日光 笹川 成田(帰国)の予定です。
- ・当会からも対応をサポートし、間野と野口隆が同行しますが、更に 1 名が必要なため、役員からサポート希望者を募りました。

#### (4) アビスタ施設利用の登録

- ・アビスタの利用、予約方法が 9 月から変わり、「ちば施設予約システム」を導入し、3 か月前からインターネットでも予約可能となりました。
- ・当会の活動でインターネット予約される方は、登録番号やパスワードが必要になりますので、事務局にお問い合わせ下さい。

#### (5) 「手賀沼の冬鳥船上探鳥会」の案内

- ・我孫子市環境レンジャーと当会の共催で、従来の手賀沼市民探鳥会から変わり「手賀沼の冬鳥船上探鳥会」を来年 1 月 25 日（日）10:00～11:00 に実施します。募集人員は 32 名で、我孫子市広報に募集案内が掲載される予定です。環境レンジャーとして染谷、松本、間野が、当会として田中功、桑森が案内役で対応します。

#### (6) その他

- ・NPO 法人 ACOBA のスタッフが野鳥観察を学ぶため、当会の来年 2 月の手賀沼定例探鳥会に参加したい旨の要請がありました。

## 2. 2015 年上期行事計画

2015 年上期行事について検討し、次の通り決定しました。

月	実施日(曜日)	行事内容	担当(下線が主担当)
4	02(木)	ピオトープ調査	鈴木
	12(日)	手賀沼探鳥会&カウント 定期総会、事務局会議	探鳥会：船津 事務局
	29(水・祝)	霞ヶ浦周辺探鳥会	金子雅、桑森
5	02(土)	筑波山探鳥会	野口隆、小林寿
	07(日)	ピオトープ調査	鈴木
	10(日)	Enjoy 手賀沼探鳥会、役員会	野口隆、金子雅
		第 12 回野鳥サロン	染谷、田中功、野口隆
6	04(木)	ピオトープ調査	鈴木
	07(日),08(月)	戸隠探鳥会(1泊)	鈴木、古出、金子幸 (下見は田中功が車提供)
	14(日)	手賀沼探鳥会&カウント、 事務局会議	探鳥会：桑森
	28(日)	笹川・印旛沼探鳥会	野口隆、船津
7	02(木)	ピオトープ調査	鈴木
	12(日)	手賀沼探鳥会&カウント、 役員会	探鳥会：松田
	26(日)	Am 映写会 Pm 懇親会(昼食含む)	映写会：相良、田中恒、石渡 懇親会：古出、野口紀、畠中
		第 13 回野鳥サロン	田中恒、畠中、船津
8	02(日)	ホタルの夕べ	染谷、木村
	06(木)	ピオトープ調査	鈴木
	09(日)	手賀沼探鳥会&カウント、 事務局会議	探鳥会：松本
	30(日)	野田周辺探鳥会	松田、金子雅
9	03(木)	ピオトープ調査	鈴木
	13(日)	手賀沼探鳥会&カウント、 役員会	探鳥会：小林寿、野口紀
	23(水祝),24(木)	白樺峠・乗鞍探鳥会(1泊)	松本、野口隆
		第 14 回野鳥サロン	今後検討

## 3. ほーぼーどり 242 号掲載予定記事

会報 242 号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。

## 4. 芋煮会と谷津田探鳥会

芋煮会と谷津田探鳥会の担当等について、資料に基づき検討し、決定しました。

## 5. 第 2 四半期会計報告

会計担当が資料に基づき報告し、異議なく了承されました。

## 6. 第 10 回「野鳥サロン」について

来年 1~2 月の平日実施で検討しており、日時と場所が決定次第周知されます。

テーマは、「鳥の渡り、動物や虫の渡り」とし、渡りの起源や世界の鳥の渡りの紹介などを検討中です。

## 7. 野鳥観察指導の依頼について

「我孫子を知る 23 会」幹事の野倉氏(当会会員)から来年 2 月 12 日(木)に行う野鳥の観察・学習会での指導依頼を受け、間野、野口、木村、船津の 4 名が対応にあたります。

## 8 . JBF 実施報告

JBF の実施結果について、事務局及び各ブースの主担当から報告されました。

## 9 . その他

JBF 初日に水の館研修室で上映したモンゴルの野鳥に関する動画がプロジェクターで紹介されました。

## 寄稿

## 大津川野鳥歳時記（2）～早春 一期一会～

相良直己

### 1 ) 新春の大津川

今年も新春を迎えることができました。この数年、毎年、元旦の朝、家族と、お屠蘇で新春を祝った後、大津川を遡り、手賀沼へ注ぐ、河口近くひどり橋まで散歩します。流石に元旦の日には、釣り人もほとんど見られず、犬をつれて散歩する人も見かけません。落ち着いて静かに散歩しながら、鳥見をすることができます。

一昨年は、その年の大津川で出会った最初の鳥が、1羽のシメでした。太い嘴にカラフルな伊達姿・・・。さわやかな新春の引き締まった寒空の中で、しばし、被写体としてポーズを取ってくれました。この年はシメの当たり年で、その後、冬の間、大津川流域でも中流域でしばしば出会うことができました。昨年は残念ながら大津川ではシメに出会うことはありませんでした。昨年はモズです。1時間の間に3羽のモズに出会いました。また、元旦早々ジョウビタキのメスにも出会い、今年も良い年であることを確信しました。

過去3年の元旦の日に大津川で出会った鳥たちです。

2012年1月1日に大津川で出会った鳥

モズ、ホオジロ、アオジ、カワセミ、ハクセキレイ、コガモ、オオバン

2013年1月1日に大津川で出会った鳥

シメ、モズ、カワラヒワ、カワセミ、コガモ、オオバン、ハクセキレイ、セグロセキレイ、チュウヒ

2014年1月1日に大津川で出会った鳥

モズ、アオジ、コガモ、オオバン、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ムクドリ、シジュウカラ

### 2 ) 残雪の中のツグミ、アオジ

大津川周辺も、一冬に何回か積雪が見られます。雪が止んだ翌朝、冷たい空気の中で大津川の中流域の土手を散策します。普段は茂みの中で見え隠れしているアオジやツグミが雪の上でエサを探しています。

中流域では、シロハラ、クロジ、ホオジロも見ることができます。でも、雪上で最も見かけるのはアオジとツグミです。こんなにも、沢山のアオジやツグミが大津川で越冬しているだと改めて気付かされます。

じっと動かない塑像のような、雪の白さに映えるアオジの黄色とツグミの茶褐色。雪の後にのみ見ることができる探鳥の楽しみです。

### 3 ) 新たないのちの輝き

大津ヶ丘に点在する梅林に紅白の花が開く頃、手賀沼周辺では、出会いを求めて、コブハクチョウ、オオバン、バン、カイツブリなどの恋の季節の到来です。

桃の花が咲くころまで、コブハクチョウのオス・メスが恋のさや当て、そこかしこで追いかっこが発生します。そして、カップルが誕生、巣作り、営巣が始まります。

コブハクチョウは手賀沼周辺のそこかしこで営巣し、繁殖していますが、大津川でも毎年、営巣と繁殖が試みられます。でも釣り人が沢山いて、人の目で守られているひどり橋周辺では毎年繁殖に成功していますが、より上流ではなかなか成功していません。

ひどり橋周辺では、2011年には、一組のペアから8羽のヒナが生まれ育ちました。2012年には、ほぼ近くの場所で7羽のヒナ、2013年は大井新田近くの土手で7羽のヒナが孵りました。2014年はひどり橋下で2羽のヒナが育っています。

しかしながら、中流域ではこの2年営巣は見られません。2011年には大津川中流域でも3ヶ所で3番いが営巣しました。宮根橋と権現橋間の中州に営巣した番いは健気に交代で抱卵していましたが、野良猫が頻繁に現れ、また、ハシブトガラスが代わる代わる卵を奪おうとやってきます。必死になって撃退をする姿に応援の声を送っていました。ある日、自転車にのってきた子供が3人、面白がって営巣しているコブハクチョウに石を投げ始めました。近くで釣りをしていたおじさんが子供たちを叱りつけ子供たちは去って行きました。しかしながら、約10日後に行ってみるとこれまで約1ヶ月我慢強く抱卵した番いが抱卵を放棄しています。カラスにやられたようでした。無残な卵の殻のみ残っていました。卵の殻は2卵でした。

もう1番いは宮根橋と権現場の間の手賀沼に向かって右岸の土手で抱卵していましたが、いくつかの卵を抱卵していたのかは分かりません。別ペアがカラスにやられた後の2週間後ペアが巣にいません。こちらもやられたのかと思いましたが、ペアが1羽のヒナをつれて近くを泳いでいます。グレー味の濃いヒナです。たった1羽のみ孵った親鳥にとって貴重なヒナ、それから2週間の間は、ヒナを挟んで3羽は仲良く宮根橋から中の橋の間を泳いでいました。しかしながら、初めて見てから2週間後ペアは2羽のみで泳いでいました。大津川上空には猛禽はほとんど現れませんが、きっと、カラス、野良猫、アオダイショウ、いずれかに襲われ生まれて2週間の生命を終えてしまったのでしょうか。上流域にはコブハクチョウ自体がほとんど飛来しません。見られるのは中流域までです。釣り人やジョギング、サイクリングの人が多く、ひどり橋周辺の下流域では、毎年、コブハクチョウの生命のリレーを見ることができず、中流域では生命のバトン・リレーは容易ではありません。

中の橋にはここ数年20羽以上のコブハクチョウが住み着くようになりましたが、まだ繁殖前の若鳥が中心なのか、この2年は、中流域では、営巣が見られません。

この冬の初めには、中の橋に最大32羽のコブハクチョウが集団で暮らしています。この中で繁殖適齢年齢に達し、ペアとなるコブハクチョウが出てくることを見守りたいと思います。外来種であり、最近、手賀沼で益々増えてきているコブハクチョウに関しては、いろいろな意見があります。しかしながら、外来種であれ、大津川周辺で生命のリレーを繋いでいくのは容易ではなく、その新たな命の輝きも見守っていただくと思います。

#### 4) 早春の大津川の水辺

大津川では、コブハクチョウだけではなく、オオバン、バン、カイツブリも営巣し、抱卵し、生命の輝きをリレーしています。コブハクチョウに比べれば小さく弱い存在の彼らは、外敵や人の見えるところには巣を作りません。川べりのヨシ等の茂みの中に見えないように巣を作ります。早春には、小さなヒナを連れたり、ヒナを背中におんぶして泳いでいたりする姿を見かけます。どんなに見ていても見飽きない、ほのぼのとした瞬間です。

早春の大津川の水辺では長い旅立ちに備えてカモ達が採餌に夢中です。大津川で見かけるカモで、年中いるカルガモを除き、最も多いのはコガモです。秋、最も早く飛来し、晩春に最も遅くシベリアに戻っていきます。特に多いスポットは何箇所かありますが、ひとり橋～下橋間の中流・下流域に広く生息しています。光線の関係で眼の周りから後頸にかけての青い帯が濃紺から濃緑、明緑まで様々な色に変化します。ピーという独特の鳴き声も春の大津川の名物です。他の探鳥地と比べ、開けた水面で、僅か5m～10mの距離で観察できることが嬉しいのです。時には、大津川側辺の田圃との間の側溝に潜んでいて、いきなり足元より飛び立ちびっくりさせられることもあります。

ヒドリガモは、最近の大津川では限られた場所のみしか見ることはできません。以前はひとり橋の名の通りひとり橋周辺にも沢山いたようですが、今は見られません。しかしながら、毎年大津川中流域の同じ場所に10羽余の群れが飛来します。川岸の土手に上がり、夕刻時に草を貪り、飛来時と比べ、早春にはかなり体も大きくなっていきます。このヒドリガモ達は毎年、僅か50m以内の同じ場所に必ず飛来します。カモ類の寿命は分かりませんが、このカモ達はここへ戻ってくるように遺伝子で組み込まれているのでしょうか？カモ達の顔の判別はできませんので、昨年と同じカモか否かも分かりません。昨年生まれて初めて飛来した若鳥も交じっています。

大津川の浅さ、流れ、植物相の違いなどから、手賀沼にふつうに見られる他のカモでも、大津川ではオナガガモ、マガモ、オカヨシガモ等の姿はほとんど見られません。水底の植物も採食するヒドリガモは大津川では殆ど川岸の土手に上がって採食をしています。この点が逆立ちして採食する同じような採食形態のオナガガモが大津川には殆どいなくてヒドリガモがいる理由と考えられます。

もちろん潜水型の採食をするホシハジロ、キンクロハジロ等は大津川では見られませんが、水面のプランクトンを採餌するハシビロガモも見ることにはできません。

## 5) 一期一会

数日前の通勤の朝、自宅近くの栗林でジョウビタキのオスに出会いました。濃いオレンジ色の胸と黒い背中が鮮やかです。朝の光の中で輝いています。昨年も、同じ頃、同じ時刻に、同じ場所でジョウビタキの番いに出会いました。でも、その栗林で出会ったのは、昨年その1回のみです。恐らく今年出会った個体は昨年のジョウビタキと違う個体でしょう。大津川の川岸でも一冬に何回かジョウビタキに出会うことがあります。でも、毎回、同じ場所で観ることはありません。たまたま、その個体にその時その場所で出会ったものでしょう。

渡り鳥たちとの出会いは、すべて、“一期一会”です。明日は、また、違った個体に出会えることでしょうか。定住しているコブハクチョウ、オオバン、バンですら、生命のリレーを繋いでいくのは大変です。ましてや、長い旅路を乗り越えて生命をリレーしていくのは大変なことです。今日出会った個体とはもう二度と出会うことはないのでしょうか。しかしながら、様々な障害を乗り越え、生命のリレーを繋ぎ、その子孫たちと何時までも大津川で出会えることを願わずにはられません。

今回は、菜の花が咲き誇る春からオオヨシキリの声で賑わう初夏までの大津川に関し、お送りします。



## 鳥 だ よ り

- 9.21 [北新田] ル`舛(2) 落とし堀の土手で  
中野久夫
- 9.21 [光ヶ丘広池学園] イヰ`舛(1) 9:37、  
記念講堂近くの木の天辺に飛来 飯泉仁
- 9.22 [片山(手賀の丘公園)] オカカ(3) 上空  
を飛ぶ 船津登
- 9.22 [片山(手賀の丘公園)] コサヒ`舛(2) 木  
に止まる 船津登
- 9.22 [片山(手賀の丘公園)] イヰ`舛(1) 木  
に止まる 船津登
- 9.22 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(5)  
船津登
- 9.22 [北新田] ル`舛(3) 落とし堀の土手で  
中野久夫
- 9.22 [東中新宿] サハ` (1) 15:00、自宅上空  
を旋回 飯泉久美子
- 9.26 [高野山] ヤマガ`ラ(1) 地鳴き 平岡考
- 9.26 [中峠] ツト`リ(1) 枯れ杉にて声。写真  
も撮った。 松本勝英
- 9.26 [中峠] サハ` (1) 松本勝英
- 9.27 [加賀] ツト`リ(1) 9:15、赤色型が林縁  
に出現し、枝に一時止まった後北西方向  
に渡去 飯泉仁
- 9.27 [東中新宿] ヴミ(1) 8:30、上空を鳴き  
ながら旋回 飯泉久美子
- 9.28 [酒井根 6 丁目下田の森] オカカ(1)  
12:40、北北東方向から出現し南南西方向  
に渡去 飯泉仁・飯泉久美子
- 9.28 [光ヶ丘広池学園] ツト`リ(1) 9:01、赤  
色型がワモケイの木に飛来 飯泉仁
- 9.28 [光ヶ丘広池学園] アガ`ラ(1) 9:09、鳴  
きながら移動 飯泉仁
- 9.28 [光ヶ丘広池学園] コサヒ`舛(1) 9:23、  
木の枝に飛来 飯泉仁
- 9.28 [光ヶ丘広池学園] イヰ`舛(1) 9:43、  
木の枝に飛来 飯泉仁
- 9.28 [光ヶ丘広池学園] ヤマガ`ラ(1) 10:56、  
鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 9.29 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` (1) 上空を  
飛ぶ 船津登
- 9.29 [片山(手賀の丘公園)] アガ`ラ(1) 木に  
止まる 船津登
- 9.29 [片山(手賀の丘公園)] ヒ`舛(2) 水場  
で遊ぶ 船津登
- 9.29 [片山(手賀の丘公園)] コサヒ`舛(3) 木  
に止まる 船津登
- 9.29 [片山(手賀の丘公園)] イヰ`舛(1) 木  
に止まる 船津登
- 9.29 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(5)  
船津登
- 9.29 [北新田] ル`舛(2) 3号排水路の土手  
で 中野久夫
- 9.29 [中峠] アガ`ラ(1) 自宅近くの樹の幹  
に飛びつきました。 松本勝英
- 10.01 [北新田] ヒ` (1) 飛翔 中野久夫
- 10.01 [北新田] ハブ`サ(1)電柱上 中野久夫
- 10.01 [布施(あけぼの山公園)] サコウ`ヨウ  
(1) 林の中の木に止まる 船津登
- 10.01 [布施(あけぼの山公園)] コサヒ`舛  
(1) 木に止まる 船津登
- 10.02 [岡発戸新田] アスイ(1) 葦、桜の枝に  
とまる 鈴木静治
- 10.02 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電柱上  
中野久夫
- 10.02 [下沼田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電線にとま  
る 鈴木静治
- 10.02 [下沼田] トヒ` (2) 上空高く飛ぶ  
鈴木静治
- 10.02 [弁天下] ヒ` (1)排水栓上 中野久夫
- 10.02 [弁天下] ル``舛(3) 大豆畑で  
中野久夫
- 10.02 [岡発戸新田] ミサコ` (1) 上空を飛ぶ  
鈴木静治・船津登・間野吉幸  
・池田日出夫・蒲田知子
- 10.03 [北新田] ハブ`サ(1)電柱上 中野久夫
- 10.03 [下沼田] ノリ(1) 電柱上でハボ`ラ`ラ  
スのヒ`ンク`を受ける 鈴木静治
- 10.03 [浅間前] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 田の杭の上  
でハボ`ラ`ラスのヒ`ンク`を受ける 鈴木静治
- 10.03 [弁天下] ル``舛(3) 大豆畑で

- 中野久夫 鈴木静治
- 10.04 [北新田] ノリ(1) 飛翔 中野久夫 10.15 [江蔵地] ツドリ(1) 柳の間を飛び任  
 10.04 [光ヶ丘広池学園] ツドリ(2) 10:25、 妙を採食 鈴木静治  
 ムイソノの木に飛来 飯泉仁 10.15 [北新田] ハブサ(1)電柱上 中野久夫  
 10.04 [弁天下] ヒタキ(3) 大豆畑で 10.16 [下沼田] ノリ(1) 電柱にとまるが、  
 中野久夫 ルホウガラスに絡まれる 鈴木静治  
 10.06 [北新田] 材木(1) 電柱上 中野久夫 10.16 [千間橋] チョウゲンボウ(2) 上空を飛ぶ  
 10.06 [北新田] ハブサ(1) 電柱上中野久夫 鈴木静治  
 10.07 [北新田] 材木(1) 電柱上 中野久夫 10.16 [発作] ヒタキ(1) 畦の桐アガイトウに  
 10.07 [北新田] ハブサ(1) 電柱上中野久夫 とまる 鈴木静治  
 10.07 [高野山] ヤマガラ(1) 地鳴き 平岡考 10.16 [布佐] ツドリ(1) 森より飛んで来て  
 10.08 [片山(手賀の丘公園)] アガラ(1) 木 畑のビニールハウスにとまる 鈴木静治  
 に止まる 船津登 10.16 [布瀬新田] チョウゲンボウ(2) 電線にと  
 10.08 [片山(手賀の丘公園)] ヒタキ(1) 小 まる 鈴木静治  
 さな木に止まる 船津登 10.16 [布瀬新田] ノリ(1) 電柱にとまる  
 10.08 [片山(手賀の丘公園)] イビタキ(2) 鈴木静治  
 木に止まる 船津登 10.16 [弁天下] ヒタキ(2) 大豆畑で  
 10.08 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 中野久夫  
 船津登 10.17 [下沼田] チョウゲンボウ(1) 桐リング後  
 10.08 [北新田] ヒタキ(1) 2号排水路の土 飛び電柱にとまる 鈴木静治  
 手で 中野久夫 10.18 [北新田] ハブサ(1) 飛翔 中野久夫  
 10.12 [泉村新田] ヒタキ(2) 11:57、田んぼ 10.19 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上  
 の水路沿いの草に止まり、フライキャッ 中野久夫  
 チ 飯泉仁・飯泉久美子 10.20 [北新田] チョウゲンボウ(1) 杭上  
 10.12 [泉村新田] ノリ(1) 12:54、電柱の天 中野久夫  
 辺に止まり、周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子 10.21 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上  
 中野久夫  
 10.12 [泉村新田] チョウゲンボウ(1) 13:28、電 10.22 [北新田] ハブサ(1)電柱上 中野久夫  
 柱に止まり、田んぼの地面を注視 飯泉仁・飯泉久美子 10.23 [五條谷] ショウビタキ(1) 自宅の庭の  
 フェンスに止まる(初認) 船津登  
 10.12 [北新田] ヒタキ(1) 飛翔 中野久夫 10.24 [江蔵地] ノリ(1) 河原の木の枝にと  
 10.12 [北新田] ノリ(1) 越流堤横柳上 まる 鈴木静治  
 中野久夫 10.24 [江蔵地] チョウゲンボウ(1) 電柱の上に  
 10.12 [北新田] ハブサ(1) 電柱上中野久夫 とまる 鈴木静治  
 10.12 [手賀沼] ミコ(2) 上沼 1, 下沼 1 10.24 [片山] ヤマガラ(3) 高木の茂みで鳴く  
 染谷迪夫・北原建郎・田中 功 鈴木静治  
 10.12 [手賀沼近辺] ハブサ(1) 上沼 1 10.24 [北新田] チョウゲンボウ(2) 電柱上  
 染谷迪夫・北原建郎・田中 功 中野久夫  
 10.12 [手賀沼辺] ヒタキ(1) 下沼 1 10.24 [北新田] ハブサ(1) 電柱上中野久夫  
 染谷迪夫・北原建郎・田中 功 10.24 [布施(あけぼの山公園)] アトリ(1)  
 渡辺俊文  
 10.12 [弁天下] ヒタキ(2) 大豆畑で 10.24 [布施(あけぼの山公園)] ヒタキ(2)  
 中野久夫 が2羽で追いかけて 渡辺俊文  
 10.13 [酒井根 6丁目下田の森] ヤマガラ(2) 11:12、ヒタキに鳴きながら飛来 飯泉仁 10.24 [布佐平和台] ショウビタキ(1) 林から  
 飛び出し枝にとまる(初認) 鈴木静治  
 10.14 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(1) 船津登 10.25 [北新田] チョウゲンボウ(1) 杭上  
 中野久夫

- 10.25 [北新田] 死バ`リ(1) 耕田から飛立ち  
(初認) 中野久夫
- 10.26 [柏の葉公園] 材カ(1) 14:36、上空  
を北方向から南方向に移動  
飯泉仁・飯泉久美子
- 10.26 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電柱上  
中野久夫
- 10.26 [北新田] ハブ`サ(1)電柱上 中野久夫
- 10.26 [酒井根 6 丁目下田の森] アカ`ラ(1)  
9:12、南から北方向に鳴きながら移動  
飯泉仁
- 10.26 [柏の葉公園] ショウビ`ク(1) 14:20、  
県民プ`ラサ`際の木で鳴いていた(初認)  
飯泉仁・飯泉久美子
- 10.26 [北新田] ショウビ`ク(1) 越流堤横コ  
原で(初認) 中野久夫
- 10.27 [片山] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電柱に止まる  
船津登
- 10.27 [片山(手賀の丘公園)] 七`ク(1) 木  
に止まる 船津登
- 10.27 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(6)  
船津登
- 10.27 [酒井根 6 丁目下田の森] アカ`ラ(1)  
9:18、林縁を鳴きながら移動 飯泉仁
- 10.27 [酒井根 6 丁目下田の森] 材カ(1)  
10:01、材カに追尾され出現 飯泉仁
- 10.27 [我孫子] ショウビ`ク(1) 電柱のてっ  
ぺんで鳴いていたが、ヘリの音で姿を消し  
ました、不明(初認) 松田幸保
- 10.27 [中峠] ショウビ`ク(1) メス。樹の枝に。  
尾羽の”微動”は見惚れました。(初認)  
松本勝英
- 10.31 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(2) 飛翔  
中野久夫
- 10.31 [都部新田] 七`ク(2) 上空高く飛ぶ  
鈴木静治
- 11.01 [日秀新田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電柱にと  
まる 鈴木静治
- 11.02 [岡発戸] ハブ`サ(1) ハシブ`トガ`ラスの群  
れ近くを飛ぶ 鈴木静治
- 11.02 [中原] ヤマガ`ラ(1) 8:53、川イン`ヅに鳴  
きながら飛来 飯泉仁
- 11.03 [上沼田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 12:15、上空  
をハ`リツ`グ 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.03 [上沼田] ノリ(1) 12:23、上空を旋回  
飯泉仁・飯泉久美子
- 11.03 [酒井根 6 丁目下田の森] アカ`ラ(1)  
9:09、鳴きながら移動 飯泉仁
- 11.03 [上沼田] 死バ`リ(4) 12:15、田んぼか  
ら鳴いて飛び立つ(初認)  
飯泉仁・飯泉久美子
- 11.04 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(6)  
船津登
- 11.04 [片山(手賀の丘公園)] アトリ約 20 松  
の木で採食 船津登
- 11.04 [下沼田] 死バ`リ2 農道の電線にとまり  
鳴く(初認) 鈴木静治
- 11.04 [北新田] 七`ク(1) 電柱上 中野久夫
- 11.04 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電柱上  
中野久夫
- 11.04 [下沼田] ノリ(1) 田中の杭にとまる  
鈴木静治
- 11.04 [千間橋] 七`ク(1) ハシブ`トガ`ラス 2 羽にモ  
ビ`ンク`されながら飛ぶ 鈴木静治
- 11.04 [千間橋] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 田の上空で  
ハシブ`トガ`ラスにモビ`ンク`をされる 鈴木静治
- 11.04 [布瀬新田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 鉄塔上を  
飛ぶ 鈴木静治
- 11.04 [発作] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 上空でハ`リツ`  
グ 鈴木静治
- 11.06 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(1) 電柱上  
中野久夫
- 11.06 [北新田] ハブ`サ(1) 電柱上で採食  
中野久夫
- 11.06 [岡発戸新田] 七`ク(2) 上空を飛ぶ  
鈴木静治・船津登・間野吉幸  
・池田日出夫・蒲田知子
- 11.06 [岡発戸新田] アオシ` (5) 草の茂みで  
地鳴き 鈴木静治・船津登・間野吉幸  
・池田日出夫・蒲田知子
- 11.08 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(2) 電柱上  
中野久夫
- 11.09 [北新田] チョウゲ`ンホ`ウ(2) 電柱から飛  
去 中野久夫
- 11.09 [手賀沼辺上空] 七`ク(3) 上沼 2, 下  
沼 1 染谷迪夫・木村 稔・田中 功
- 11.09 [手賀沼辺上空] ショウビ`ク(1) 下沼 1  
染谷迪夫・木村 稔・田中 功
- 11.09 [東中新宿] ツミ(1) 8:48、自宅南方向  
を鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.09 [光ヶ丘広池学園] ヤマガ`ラ(2) 11:57、  
ソメイシ`ノの木に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.10 [片山(手賀の丘公園)] チョウゲ`ンホ`ウ(1)  
上空を飛ぶ 船津登

11.10 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5) 船津登	アトリ、アマサギ、アリスイ、イソシギ、 ウグイス、ウソ、エゾビタキ、エゾムシク イ、エナガ、オオタカ、オオバン、オカヨ シガモ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、 カケス、カシラダカ、カルガモ、カワウ、 カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブ リ、キジ、キジバト、キセキレイ、キビタ キ、キンクロハジロ、クロジ、ゴイサギ、 コガモ、コクマルガラス、コゲラ、コサギ、 コサメビタキ、コブハクチョウ、サシバ、 サンコウチョウ、シジュウカラ、シメ、ジ ョウビタキ、シロハラ、スズガモ、スズメ、 セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、 ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チ ュウサギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツ グミ、ツツドリ、ツバメ、ツミ、トビ、ノ スリ、ノビタキ、ハイイロチュウヒ、ハク セキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラ ス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、 ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、 ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、ミサゴ、 ミヤマガラス、ミヤマホオジロ、ムクドリ、 ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリ カモメ、ヨシゴイ 計 88 種 <番外種> アイガモ、カワラバト、コジケ イ、バリケン
11.10 [片山(手賀の丘公園)] クロヅ(2) 木立 の下で採食 船津登	
11.10 [鷺野谷新田] ノスリ(1) 電柱に止まる 船津登	
11.10 [鷺野谷新田] ヒ(2) 上空を飛ぶ 船津登	
11.10 [片山(手賀の丘公園)] アオシ(1) 船津登	
11.12 [手賀新田] ノスリ(1) 上空を飛ぶ 船津登	
11.12 [北新田] ツグミ(1) 越流堤横柳上(初 認) 中野久夫	
11.12 [五條谷] ツグミ(1) 桜の木で鳴く(初 認) 船津登	
11.12 [東中新宿] ツグミ(1) 6:43、自宅上空 を鳴きながら移動(初認) 飯泉久美子	
11.14 [布佐平和台] ヤマガラ(2) 電線にとま る 鈴木静治	
11.14 [布佐平和台] ツグミ(5) 樹の上を飛 ぶ(初認) 鈴木静治	
11.16 [酒井根 6 丁目下田の森] アカハラ(1) 9:46、鳴きながら移動 飯泉仁	
11.17 [曙橋] トビ(1) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治	
11.17 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(4) NR 船津登	
11.17 [北新田] ハヤブサ(1) 電柱上 中野久夫	
11.17 [鷺野谷新田] ノスリ(1) 電柱に止まる 船津登	
11.18 [片山(手賀の丘公園)] ミヤマホオジロ(3) 桜林の地面で採食 船津登	
11.19 [江蔵地] ハイイロチュウヒ(1) 葭原上を飛 ぶ 鈴木静治	
11.19 [江蔵地] ヒ(2) 上空高く鳴きなが ら飛ぶ 鈴木静治	
11.19 [江蔵地] ミサゴ(1) 川の上を飛ぶ 鈴木静治	
11.19 [片山(手賀の丘公園)] アトリ(2) 水場 で採食 船津登	
11.19 [北新田] ハヤブサ(1) 電柱上 中野久夫	
11.20 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上 中野久夫	
今回の投稿者の総投稿件数	
飯泉仁	318
飯泉久美子	5
飯泉仁・飯泉久美子	147
鈴木静治	187
鈴木静治・船津登・間野吉幸 ・池田日出夫・蒲田知子	38
染谷迪夫・北原建郎・田中功	24
染谷迪夫・木村稔・田中功	31
田中功	1
中野久夫	59
平岡考	6
船津登	139
松田幸保	1
松本勝英	7
百瀬喬	6
渡辺俊文	2
今回寄せられた鳥の全種名	総計
アオサギ、アオジ、アカゲラ、アカハラ、	971
	(浅井久)

## 会からのお知らせ

### <「写真集 2014」応募写真の募集>

今年も「我孫子野鳥を守る会写真集」の応募写真を募集します。

この写真集は 2007 年に始まりましたので今年で 8 回目になります。

この写真集は会員の撮影した写真を CD-R や DVD 等のメモリーに集約・記録して、会の活動に役立てることを目的にしています。

今年度は相良・北崎が幹事として担当いたします。下記の募集要項をご覧の上、奮って応募してください。

#### [募集の要項]

##### 1. 募集写真

会員の撮影した下記テーマの写真を募集します。

テーマ： 鳥、動物、植物、風景、会の活動

国内、国外を含みます。

撮影日は何時であっても構いません。

ただし 2007～2013 年の写真集に入っているものは除きます。

##### 2. 応募写真の条件

以下の条件を確認ください。

デジタル写真であること。

トリミング、レタッチ済であること。

大きく印刷することもあるため、極端にトリミングしたものは不可。

リサイズしないもの（小さくしない。ピクセル数は原画をトリミングしたまま）であること。

写真の大きさは目的によって変わるが、写真の内容によって小さくても価値のあるものは必要と思うので応募者に一任する。

写真の縦横は自由。

デジタル写真の拡張子は .jpg または .JPG であること。

##### 3. 応募写真のファイル名

写真のファイル名は題名、撮影地、撮影年月日、撮影者氏名、管理番号としてください。

題名は先頭に置き、撮影地以下は順不同。

題名は鳥や動物、植物なら種名をカタカナで、不明なら不明と漢字で記入。

カタカナは全角にかぎる。種名がこの種と思われるが確定できないときは

カタカナの種名の後ろに？（全角であること、半角はファイル名に使えません）をつける。

会の活動の場合は行事名を題名にする。

撮影地は簡明に漢字などで記入。

撮影年月日は YYMMDD の形式で必ず 6 桁で記載。

例：2010 年 4 月 15 日なら 100415 のように記入。

撮影者氏名は姓名を漢字などで記入。

管理番号は撮影者の必要とする管理番号があれば記入する。

各項目が混同する恐れがあれば適当にハイフンなどで区別する。

[例] ハチジョウツグミ？北本自然公園 080306-155-028 西巻 実.jpg

##### 4. 応募方法

写真は次のフォルダーに入れて DVD、CD-R などで応募ください。

- ・鳥国内
- ・鳥国外
- ・自然物 動物、植物、風景など自然のもの。国外も含む。
- ・活動 会の活動

なお応募に使用された DVD、CD R 等は返却いたしませんので悪しからず了承ください。

5. 応募締め切り

2015 年 1 月 12 日 必着

6. 送付先

〒277-0921 柏市大津が丘 3-48-5 相良直己宛

12 月度、1 月度に当会主催で開催されます定例探鳥会、遠出探鳥会時にも受付いたします。

DVD、CD 等の外部媒体にコピーして持参ください。

7. ご連絡 / お問い合わせは

担当 相良宛

Tel : 04-7191-3108

\* 写真の取扱い、配布方法など詳細は相良または北崎へお問い合わせください。皆様の奮っての応募をお待ち申し上げます。

< 新入会員紹介 >

高 仲彦 (台湾・新北市在住)

小田谷嘉弥、古高利男、古高すま子 (我孫子市在住)

津村勝吉、津村啓子 (柏市在住)

< ご寄附 >

谷山晴男さんおよび、有志で行われた台湾野鳥保全協会歓迎会よりご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

< 会員便りへのお願い >

本号は投稿数が少なかったため会員便りは割愛しました。ab-yacho への投稿をお待ちしております。

ほーほーどり No. 242 (2015 年 1 ~ 2 月号)

発行 2015 年 1 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1154 我孫子市白山 3 - 8 - 16 - 104 間野方

連絡先 〒277 0005 柏市柏 1001 - 5 野口隆也 Tel 04 - 7163 - 7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円 (大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)